

24. 保健栄養

少子・高齢化が本格化する中で、県民の健康づくりへの意識が高まる一方、生活環境の著しい変化により多様化した個人のライフスタイルに合わせ、1人ひとりへの適切な対応が必要となっている。

当所では、「6.栄養改善」で述べた集団給食施設指導、食生活改善推進協議会会員・市町村栄養士等の教育・研修事業のほか、次のことを行い、適切な食生活と健康管理の推進並びに健康増進活動を行う地域指導者の育成に努めた。

1 栄養改善指導実施状況

	個別指導延人員		集団指導延人員	
	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導
乳幼児	-	-	-	-
20才未満	-	-	-	-
20才以上	-	-	634	-
計	-	-	634	-

2 栄養士職域ネットワーク研究会

地域の栄養改善、健康づくりに関する総合的な資質の向上と情報交換を図ることを目的に開催。

実施年月日	対象者	参加人数	内 容
平成18年8月25日	管内の栄養管理業務に携わる管理栄養士及び栄養士	15名	講義と実技 「元気づくり体験～適切な運動習慣を身につけるために～」 講師:社団法人元気クラブいなべ事務局長 大平利久氏

地域栄養課題の検討

平成11年度に策定した地域栄養改善活動指針をもとに、地域課題の把握、検討及び評価を行うとともに、栄養士が所属する各職域の紹介やメニューなどをホームページで情報発信した。

- ・検討委員：6名(研究会参加者)
- ・検討会：1回

3 食育推進事業

幼児期から、生涯を通じて健康的な食生活を営める能力を身につけるために、生物を育み、命の大切さを知り、それを適切に食べることを学ぶ「食育」を推進した。

研修会

場 所:桑名庁舎 衛生教育室

内 容:講演「五感をみがいておいしさを知る」

講師 三重中京大学短期大学部 助教授 鈴木舞子氏

出席者

所属施設の種類	出席者数(人)	
	管理栄養士・栄養士	その他
児童福祉		10
行政	1	
その他	1	8
計	2	18